



関係機関訪問を終えて..

地域支援アドバイザー 高坂均

昨年度まで全ての特別支援学校に一人ずつ配置されていました「教育支援アドバイザー」は、今年度より「地域支援アドバイザー」と名称が変わり、10校への配置となりました。特別支援学校内の地域支援センターに所属し、特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制構築に向けて各関係機関と連携を図りながら養育や教育に関する相談支援体制の充実を図ることを業務としております。

今年度は、郡山市内の教育、保健、福祉機関15か所と、中通り・会津地方にある、教育事務所、市町村教育委員会、保健福祉センター等、39か所の関係機関を訪問し、郡山支援学校の概要や県が進めている切れ目のない支援体制事業の内容について説明を行いました。

各教育委員会からは、訪問の趣旨を理解したので管内の各学校にはしっかり伝えていく旨の話をいただき、心強い思いを抱くことができました。なお、肢体不自由児が小・中学校の通常学校にも相当数在籍していることから、今後も一層、関係機関と連携を深めながら相談支援の充実に努めていきたいと思っております。

また、保健福祉関係機関からは未就学児に関して、就学や相談体制に関する質問も多く受けました。これからも機会をとらえて啓発を進める必要性を実感しました。

1学期のぐんぐん活動報告

1学期は新年度にあたり、高坂アドバイザーを中心に関係機関等にてむき、顔を合わせて支援や連携の体制を確認しました。

また、1年半ぶりにキラキラ教室を開催することができました。詳しくは下をご覧ください。さらに「キラキラWEB教室@home」では健康教育部と連携し、食事についての記事を掲載しました。2学期以降さらに本校の専門性を生かした記事を掲載していきたいと思っておりますので、是非、右QRコードからチェックしてみてください。



今年度は、教育支援部として校内教育相談にも力をいれています。相談してみたいことがありましたら、お気軽に担任までお問い合わせください。



第2回キラキラ教室の報告

6月9日(水)、約1年半ぶりにキラキラ教室が開催されました。来年度就学を迎えるお子さんをお持ちの保護者5名が参加しました。就学前の手続き等の流れや、学校生活についてなど、本校職員の説明に、皆さん真剣に耳を傾けていらっしゃいました。質疑応答の時間には、より具体的な疑問や質問が出されました。終了後のアンケートでは、全員の方から「参考になった」と回答をいただきました。次回は令和4年度以降就学のお子さんをおもちの方を対象に、9月8日(水)実施の予定です。

パラリンピック、 いよいよ開幕！！

2021年8月24日から9月5日までの13日間の日程で、東京2020パラリンピックが開催されます。参加人数は約4400人(予定)で、22競技537種目で争われます。本大会へ出場する日本代表選手は過去最高の221人です。選手団主将は車椅子テニスの国枝慎吾、旗手は卓球男子の岩淵幸洋と女子選手1人がつとめます。

2016年リオパラリンピックでは日本のメダルは銀10個、銅14個でした。今回はそれを上回る成績を収めて欲しいです。 **「がんばれニッポン」**



パラリンピックマスコットは「ソメイティ」。サクラの触角と超能力を持つキャラクターです。パワフルな能力を発揮するそうですよ。